

生涯学習事業実践事例集

～公民館・自治振興センターで行う生涯学習事業～
(平成23年度事業)



平成24年7月
庄原市教育委員会
(生涯学習課)

はじめに

庄原市では、平成17年3月31日の市町合併以降、市内21公民館において、公民館事業により生涯学習を推進し、平成19年度からは公民館の自治振興センターへの順次移行に伴い、自治振興センターの指定管理者である自治振興区において、生涯学習事業を推進しています。

この事例集は、各公民館で実施される公民館事業及び各内自治振興センターで実施される生涯学習事業の実践事例を、各公民館、自治振興センターにおいて実施された事業の中から、特徴的な事業や効果の高かった事業を選定し作成いただいたものです。

目次

各施設実践事例書

庄原地域

庄原自治振興センター	【第5回 庄原自治振興区作品展】	1
高自治振興センター	【勾玉を作ろう】	2
本村自治振興センター	【介護者の集い】	3
峰田自治振興センター	【女性による地域づくり参図について】	4
敷信自治振興センター	【老人部 健康講座】	5
東自治振興センター	【東地区ふれあい祭り】	6
山内自治振興センター	【野草を利用した健康づくり事業】	7
北自治振興センター	【庄原市折り紙ヒコーキ大会】	8

西城地域

西城公民館	【有害鳥獣対策講座】	9
八銚自治振興センター	【生け花講座】	10

東城地域

東城公民館	【ふるさと今昔講座】	11
小奴可の里自治振興センター	【おぬかの里文化祭】	12
八幡自治振興センター	【八幡ものがたり絵図一周ハイキング】	13
田森自治振興センター	【ロング・ローング巻ずしを巻こう】	14
帝釈自治振興センター	【陶芸教室】	15
久代自治振興センター	【久代げんきシリーズ】	16
新坂自治振興センター	【30周年記念新坂地区盆踊り大会】	17

口和地域

口和自治振興センター	【キャリア教育講演会】	18
------------	-------------	----

高野地域

上高自治振興センター	【おばあちゃん秘伝昔ながらの煮しめをつくろう会】	19
下高自治振興センター	【尾道松江高速道路現場見学会 「夏の見学会！高速道路下門田橋」】	20

比和地域

比和公民館	【子ども俳句広場「ヒワちゃん俳句工房」】	21
-------	----------------------	----

総領地域

総領自治振興センター	【「ほたる見コンサート」「クラフトかご作り」】	22
------------	-------------------------	----

印の公民館は、平成24年4月1日より自治振興センターに移行

各施設連絡先一覧	23
----------	----

事業名	事業テーマ
勾玉を作ろう	技能修得、世代間交流

事業費

事業費 6,000 円（内訳：市事業費 6,000 円）

事業の概要

勾玉作りを習うことにより、地域の方から学んだり、交流したりする機会を作る。

事業の目的

勾玉作りを習う。
 勾玉の歴史的背景や意味を知る。
 地域住民の交流の場を作る。

対象者

小学生，保護者

参加人数

延べ 46 人

開催期間

夏休み 1 回，冬休み 1 回

実施回数

2 回

事業の内容

勾玉の歴史的背景と作り方の説明を聴く。
 勾玉を作る。
 他の人の作品を見る。

特徴的な内容

地域住民の方に指導をお願いして世代間交流を図りながら，勾玉作りを教わった。

成果・課題等

参加者が皆集中して取り組み，作品の完成を喜んだ。
 和やかな雰囲気の中で保護者同士の交流もできた。

写真



勾玉を作る作業中



作品完成

事業名	事業テーマ
介護者の集い	健康づくり

事業費

23,000 円（内訳：市事業費 20,000 円 その他 3,000 円）

事業の概要

講師を招いて講話・健康体操・体力維持

事業の目的

健康体操でまめに過そう

対象者

本村・上谷地区民

参加人数

30 人

開催期間

平成 24 年 3 月 9 日（金）

実施回数

1 回

事業の内容

講師を招いて、骨粗鬆症を予防するための講話・健康体操を行った。

- ・椅子を使って軽い運動
- ・ジャンケン頭の体操
- ・ストレッチの仕方等

特徴的な内容

介護予防を目的に、日常生活の中で実行できる体力維持の体操を実施。
転倒予防も兼ねて行った。

成果・課題等

回数を増やす事で、恒常的に健康維持ができるようになると考えられる。
年に数回行うようにしたい。
年々高齢化が進む中で、地域の方に健康で過してもらいたい。

写真



ジャンケン頭の体操



椅子に座ってストレッチ

事業名		事業テーマ	
女性による地域づくり参画について		あなたの“楽しい！”が地域を変える 地域づくりであ・そ・ぼっ！	
事業費			
21,900円(内訳：市事業費21,900円)			
事業の概要			
女性部主催の研修会			
事業の目的			
女性部員の知識の向上			
対象者		参加人数	
区民		46人(女性41人,男性5人)	
開催期間		実施回数	
平成24年1月28日(土)		1回	
事業の内容			
女性として住民自治へ積極的に参加することの提案			
特徴的な内容			
誘われて参加するのではなく、積極的に参加することが大事なことで、そして、あたりまえの話なのだが、その「あたりまえ」のことの大切さを学んだ。			
成果・課題等			
多くの参加があったこと。 広く呼びかけたことで、男性も5人の参加があった。			

写真



事業名	事業テーマ
老人部 健康講座	健康な高齢者をめざして

事業費

100,000円(内訳:市事業費30,000円 その他70,000円)

事業の概要

健康な老後を目指して学び、高齢者間の交流を深める。

事業の目的

老人部員(高齢者)がいつまでも健康で地域で暮らし続けることを目指す。

対象者

敷信自治振興区 老人部

参加人数

117人

開催期間

平成24年2月29日(水)

実施回数

1回

事業の内容

午前中は、健康に過ごすための食生活について学び、午後は、「認知症について」の講演を聞く。

特徴的な内容

年に1度、全体会として行なわれる老人部の主催事業。

成果・課題等

毎年多くの参加者のある事業であるが、今回は内容はもちろんのこと、参加者の移動手段の配慮も十分にされ、11の全自治会から多くの参加者があり、交流の場にもなった。
これ以上参加人数が増加した場合、現在の施設では対応が難しい。

写真



事業名	事業テーマ
東地区ふれあい祭り	世代間交流事業

事業費

402,882 円（内訳：市事業費 135,000 円 その他 267,882 円）

事業の概要

生涯学習教室の発表や展示，自治会からのバザー出店，各戸からの農産物販売等を行う。

事業の目的

世代を越え，高齢者から子どもまでの地域ぐるみの交流を図る。

対象者

東地区住民

参加人数

約 500 人

開催期間

平成 23 年 10 月 30 日（日）

実施回数

1 回

事業の内容

今回で第 3 回目を迎えた，東地区全体で取り組むふれあい祭り。

- ・出店数 13 団体
- ・演芸 5 団体
- ・展示 10 団体

特徴的な内容

年齢に関係なく楽しめる場を作る。

成果・課題等

今回は，編み物教室の作品を会員がファッションショーを行い披露し，小雨にもかかわらずたくさんの方に最後まで楽しんでもらった。

写真



事業名	事業テーマ
野草を利用した健康づくり事業	地域に自生する薬草を知る

事業費

54,000円(内訳:市事業費54,000円)

事業の概要

「高原の家七塚」理事長西村清巳先生の指導で、地域に自生する薬草を採取し、それをお茶や薬膳料理に利用することで、薬草の知識を身に付ける。

事業の目的

自生する薬草を知ること、地域の自然の豊かさを知ることや、自然を守る大切さを身に付ける。

対象者

地域の一般住民

参加人数

延べ80人

開催期間

23年5月～23年7月

実施回数

4回

事業の内容

- 1回目 薬草の種類と基礎知識を学ぶ。
- 2回目 現地での薬草説明と薬草の採取
- 3回目 薬草茶にするための薬草を採取 薬草茶用に薬草を細断
- 4回目 3回目で細断した薬草を袋に詰め薬草茶を作る。

特徴的な内容

地域内の薬草の再認識。

成果・課題等

今迄、雑草としか見ていなかった植物が、薬草であることができて改めて感動した。
生半可な知識で薬草を採取すると、毒になるものと間違える危険がある。

写真



薬草の基礎知識を学ぶ



現地で薬草の知識を学ぶ



薬草を調理する



薬膳料理を食べる



薬草茶用薬草を採取



袋に薬草を詰め薬草茶完成

事業名	事業テーマ
庄原市折り紙ヒコーキ大会	家庭教育支援

事業費

39,235 円 (内訳: 市事業費 30,535 円 参加者負担金 8,700 円)

事業の概要

市内の子どもを対象として、紙ヒコーキ博物館から講師を招いて、折り紙ヒコーキ教室と滞空時間競技を開催する。

事業の目的

子どもたちが触れ合う科学の体験的遊び場を提供する。

対象者

市内の小学生を主体とし、幼児、一般

参加人数

40人

開催期間

平成24年3月11日(日)

実施回数

1回

事業の内容

- 1 内容
 - (1) 折り紙ヒコーキ折り方講習会
講師: 日本折り紙ヒコーキ協会
 - (2) 折り紙ヒコーキ大会(滞空時間)
- 2 場所
庄原市総合体育館 1階アリーナ
- 3 日程及び内容等
 - 12:30 ~ 受付
 - 13:00 ~ 開会行事
 - 13:30 ~ 折り紙ヒコーキ折り方講習会
 - 14:30 ~ 滞空競技
 - 16:00 ~ 成績発表・表彰式・閉会行事

特徴的な内容

- ・地域内の小学生は、小学校の統廃合により2校に通学することになっているため、地域内の小学生の交流を図っている。
- ・理科離れが問題視されており、子どもの理科離れ対策として、紙ヒコーキ教室を通して遊びの中で学習する。

成果・課題等

- ・習い事等で土日の参加が困難な対象者も多く、日程調整に苦慮する。
- ・近隣の自治振興センターとタイアップして開催する等の方法を検討する。

写真



事業名	事業テーマ
有害鳥獣対策講座	『聞いて納得、見て納得、歩いて納得。 私にもできる！有害鳥獣対策』

事業費

64,000 円（内訳：市事業費 64,000 円）

事業の概要

講演，先進地視察，地域内の集落点検の講座を 3 回シリーズで開催

事業の目的

近年，著しく増大しつつある鳥獣害を防ぐための学習講座を開催することにより，効果的な対策を地域住民が学び，共有し，地域全体で被害減少を図る。また，獣害対策の取り組みをとおして，地域づくりの一助としたい。

対象者

西城町内及び近隣地域住民

参加人数

116 人

開催期間

平成 23 年 4 月 28 日（木）～6 月 5 日（日）

実施回数

3 回

事業の内容

- 第 1 回：講演会 「聞いて納得！有害鳥獣の生態と被害防止の考え方」
有害鳥獣の生態や習性を学び，害防止対策のための考え方について基本的な知識を深めた。
- 第 2 回：先進地視察 「見て納得！先例地の実践的防除対策と地域振興に学ぶ」
島根県美郷町吾郷地区の試験圃場，イノシシ肉加工施設を見学し，今後の可能性を検討した。
- 第 3 回：集落点検 「歩いて納得！みんなで行く集落点検」
平子馬場瀬地区を歩き，有害鳥獣への餌付け防止や，効果的な嫌がらせについて学んだ。

特徴的な内容

講演での基礎学習内容を，先進地視察で実際に見ることで体感し，自分たちの地域を新たな視点で見つめ直すことができたという非常に効果的な研修形態であった。

成果・課題等

講座への参加者は，獣害は，獣の数が増えたから，生態系が変わってきたからというのではなく，自分たちが知らず知らず『餌付け』行為をしていたために必然的に増えてきたのだということに気づき，個人よりも集落全体で考える問題だという認識が生まれてきた。これを，地域住民全体で共有していく取り組みが望まれる。

写真



事業名	事業テーマ
生け花講座	心への安らぎと潤い

事業費

75,000 円（内訳:市事業費 23,000 円 参加者負担金 52,000 円）

事業の概要

振興区の女性部が主体となって、地域内の生花の講師の指導の下で、年間 3 回の生け花講座を行う。

事業の目的

季節感あふれる折々の花材を用いて、花を生けることにより心の安らぎや潤いを実感するとともに、地域内の交流を図り、地域振興の活力を醸成する。

対象者

生け花を楽しく習いたい方

参加人数

37 人

開催期間

平成 23 年 4 月 1 日(金)～平成 24 年 3 月 31 日(土)

実施回数

3 回

事業の内容

- H23. 9. 21 参加者 11 人 講師 2 人により初回講座を開催した。
- H23. 12. 18 参加者 4 人 お正月向けの生花を学び、サロンも取り入れた。
- H23. 3. 3 参加者 22 人 更に、生花とサロンに加え、節句の意義等について講話を行った。

特徴的な内容

地域の流派が異なる 2 人の講師を活用し、初回は講師 2 人で講座を開始した。
 2 回目は、「講師の流派が異なり参加者がとまどいを感じる」との反省から 2 人の講師が交互に講座を担当する形とし、更に各自治会間の交流面にも力点を置きサロン形式に発展させた。（4 月から 1 つの自治振興区に統合されたため交流の活発化は必須であり、これを図る一助とした。）
 加えて 3 回目の講座には、生花とサロンのみならず「節句の意義等」についての講話も織り込み、教養面の充実も図った。

成果・課題等

前述の「特徴的な内容」に記載したとおり、P D C A 手法を取り入れ講座を充実させていくといった経験から、企画管理能力が高まった。
 また、自治振興区として統合化された 4 地域（三坂、八銚落合、高尾、油木）の連帯感の醸成にも寄与できた。
 未だ、一部自治会では過去から継続して生花が行われており、これらも含めた地域全体の連帯感の醸成と教養面の充実を図るためには、出前講座を併用した取り組みも検討する必要がある。

写真



事業名	事業テーマ
ふるさと今昔講座	ふるさとの歴史・文化の探求と文化財保護

事業費

1,850,000 円（内訳：市事業費 100,000 円 参加者負担金 1,750,000 円）

事業の概要

年間をとおしてのメインテーマを決め、座学と実地視察研修会を毎月行う。
本年度は城郭，城館に着目し，その機能，構造をはじめ政治・社会・文化について探る。

事業の目的

東城町と周辺の歴史・文化について学習を重ね，ふるさと東城を知るとともに，貴重な文化遺産の保護と活用をはかる学習を行う。さらに，それらを次の世代につなぐ活動も行う。

対象者

東城町全域の成人

参加人数

延べ 473 人（男性 329 人，女性 144 人）

開催期間

平成 23 年 4 月 1 日（金）～平成 24 年 3 月 31 日（土）

実施回数

12 回

事業の内容

- 第 1 回講座 開講式，特別講演「ミクロネシアと日本」
- 第 2 回講座 視察研修「城郭文化の再発見 津山城，岡山城，備中高松城跡，備中松山城」
- 第 3 回講座 講演「東城地方の城館遺跡」
- 第 4 回講座 視察研修「城郭文化の再発見 丸亀城，高松城，栗林公園」
- 第 5 回講座 講演「現代遍路考」
- 第 6 回講座 講演「古建築鑑賞入門～“自然との共生”を目指して～」
- 第 7 回講座 講演「東城の民話」
- 第 8 回講座 一泊視察研修「滋賀・湖北から湖東，浅井長政と織田信長の夢の跡を訪ねる 小谷城跡，長浜城，安土城跡その他」
- 第 9 回講座 視察研修「東城地方の城館めぐり（町内全域の主な山城跡 12 ヶ所）」
- 第 10 回講座 視察研修「水野勝俊侯菩提寺，国宝の名刀展，ひろしまの城と戦展を訪ねる」
- 第 11 回講座 講演「比婆荒神神楽について」
- 第 12 回講座 講演「郷土史学習のねらい～幕末・明治期の東城地区の事例に因んで～」，閉講式

特徴的な内容

本年度のメインテーマを「城郭文化の再発見」として，東城地方の城館遺跡と中四国地方の代表的な城の形態（山城，平山城，平城）の視察研修を行った。

成果・課題等

東城の山城跡，中四国地方の代表的な城の形態を座学に加え実地を視察研修することにより，日本の城郭文化について再発見することができた。また，比婆荒神神楽，郷土史についての理解度が深められた。

写真



事業名	事業テーマ
おぬかの里文化祭	生涯学習の成果発表と住民同士の交流

事業費

196,706 円（内訳：市事業費 196,706 円）

事業の概要

歌、踊り、楽器演奏等のステージ発表、絵画、書道作品、手芸作品等の展示、バザー等を行う。

事業の目的

日頃から取り組んでいる生涯学習の成果を発表し、今後の活動につなげる。
小奴可の里自治振興区内の住民が集まり、交流と親睦を図る。

対象者

小奴可の里自治振興区民

参加人数

約 300 人

開催期間

平成 23 年 11 月 13 日（日）

実施回数

1 回

事業の内容

- ・ステージ発表（小奴可小学校演技、小奴可保育所演技、銭太鼓、踊り、楽器演奏、カラオケ等）
- ・作品展示（小学校、保育所の作品、生け花、絵画、書道、写真、手芸作品、工芸作品等）
- ・バザー（JA 女性部、保育所保護者会、地元事業所等が出店）
- ・お茶席（上田宗箇流茶道教室）

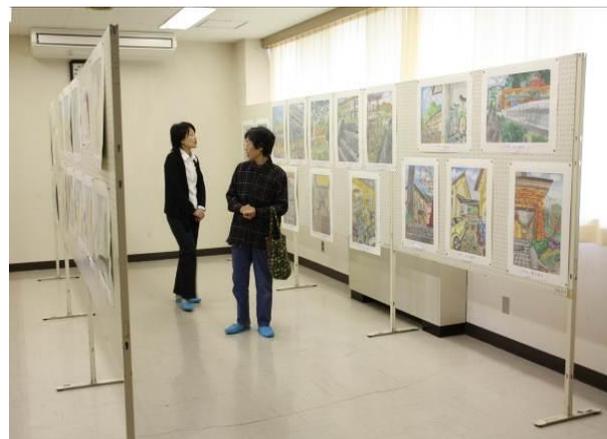
特徴的な内容

地域の手作りの文化祭として、準備、当日の進行、出演等を地域住民で行う。
小奴可研修センターの会場全体を使って、展示を行う。

成果・課題等

地域住民と小学校や保育所の子どもたちとの交流の機会となっている。
日頃の生涯学習の発表の場として、練習や作品制作の目標となっている。
文化祭参加のための話し合いや、準備、練習等を通して、自治会や各種グループの結束が高まっている。
準備や当日の進行等に多くの人が積極的に関わっており、協力体制ができています。
交通手段がなく、参加が難しい人がいる。

写真



事業名	事業テーマ
八幡ものがたり絵図一周ハイキング	観光事業推進

事業費

51,580 円（内訳：市事業費 51,580 円）

事業の概要

八幡の名所一周を学習しながら 5 回にわけてハイキング実施。

事業の目的

八幡の宝学習 ガイド育成 健康作り

対象者

観光推進部員，八幡地域住民（振興区便りで募集）

参加人数

65 人

開催期間

6月29日（水） 7月12日（火） 11月15日（火）
11月29日（火） 12月9日（金）

実施回数

5 回

事業の内容

八幡ものがたり絵図掲載の場所を 5 コースにわけてハイキング
観光推進部員がガイドを分担し，作成中だったガイドブックをベースにガイドを務める。講師代支払い
詳細コースはガイドが決定。ガイドは事前に学習し，パンフレットも作成し参加者配布
自治振興センターに集合し，自治振興センターから始点までと，終点から自治振興センターまでの間を，地
域バス，小型バス等で送迎
9時集合し平均 14 時解散 昼食は各自弁当持参

特徴的な内容

観光事業推進のガイド育成と地域住民の地域学習をドッキング

成果・課題等

ボランティアガイド育成に貢献
参加住民の地元の歴史・名所認識向上
健康作り貢献

写真



事業名	事業テーマ
ロング・ローグ巻ずしを巻こう	世代間交流

事業費

46,626 円（内訳：市事業費 37,826 円 参加者負担金 8,800 円）

事業の概要

少子高齢化が進む地域を活性化し、「元気・輝き・温もりある地域」をめざす取り組みとして実施する。

事業の目的

世代間の交流と、子どもの健全な育成を図る。

対象者

田森地区住民

参加人数

61 人（大人 39 人，子ども 22 人）

開催期間

平成 24 年 2 月 4 日（土）

実施回数

1 回

事業の内容

「この地域に住んでよかった」と思える地域になるよう、多世代が参加できる事業として「ロング・ローグ巻ずし」作りに大勢の参加者が一列に並んで挑戦した。

特徴的な内容

日本の伝統行事に触れてもらうことをねらいとして、節分に福を巻きこむといういわれのある巻ずし作りをした。

成果・課題等

保育所の園児と保護者・小学生，そして地域のお母さんたちが集合し，ロング巻ずし作りに挑戦。長さ 14m(70 人分の巻ずし)のりっぱなロング・ローグ巻ずしが完成。次回はもっと長いのに挑戦したい。

写真



事業名	事業テーマ
陶芸教室	世代間交流事業

事業費

82,845 円 (内訳: 市事業費 67,845 円 参加者負担金: 15,000 円)

事業の概要

造形に興味をもち、陶芸に挑戦する。

事業の目的

陶芸に興味を持つ。
世代間交流の場とする。

対象者

小学生・一般

参加人数

延べ64人

開催期間

6月～11月

実施回数

3回

事業の内容

- ・陶芸土の特徴を習う。
- ・自分の作りたい物を決めて、それぞれの作り方を習う。
- ・一晩休ませて、作品にあった仕上げをする。
- ・数日間乾かして、素焼き・釉薬で色づけ・本焼きをし、出来上がりを楽しみにする。
- ・作品の展示会をする。

特徴的な内容

- ・世界に一つだけの作品をつくる。
- ・世代間の交流の場とする。

成果・課題等

- ・割れる作品もなく、描いていたイメージ以上の作品が仕上がった。
- ・次回に作りたい作品のイメージができたようだ。
- ・親子で参加される方があり、家庭内の絆も深めることができた。
- ・焼き窯が借り物なので、定期的に作品作りに取り組むことができない。
- ・常備していただいて、定期的にもっと楽しみたい。

写真



事業名	事業テーマ
久代げんきシリーズ	久代で心も身体も元気に

事業費

53,223 円（内訳：市事業費 38,023 円 参加者負担金 15,200 円）

事業の概要

久代地域の成人を対象とし、心と身体の健康を目指す。

事業の目的

久代地域の住民の心と身体の元気を目指し体力・知力・気力の向上を助ける講座を実施している。

対象者

久代地域成人

参加人数

延べ数 56 人（大人）

開催期間

H22 年 4 月～ H23 年 3 月

実施回数

6 回

事業の内容

第 1 回目

・がんになりにくい料理教室 現代の成人病で死亡率の高い癌について学び予防の一つとして料理教室を開催した。（会場：久代自治振興センター）

第 2 回目

・介護予防と認知症講座 認知症について学びどのように介護するのかを楽しく講習した。（会場：久代自治振興センター）

第 3 回目

・転倒予防教室（こけま～で教室） NPO 法人コ・チズによる転倒予防教室，足腰と心を伸ばそう身体と心をのびのびと鍛える講座を開催した。（会場：久代自治振興センター）

第 4 回目

・関節によい料理教室 関節や骨の元気を目指し食べ物で強くしていく学習をした。

第 5 回目

・心の健康づくり 心の元気を目指し学習した。（うつ病について）

第 6 回目

・お正月を楽しく迎えよう フラワーアレンジメントで楽しくお正月準備。

特徴的な内容

- ・久代地域全体の心と身体の元気を目指し毎年続けている。
- ・病気についての理解と予防が少しずつ身に付いてきている。

成果・課題等

- ・心と身体がいかに密着しているかがよく学習できた。
- ・参加者が固定してきている。

写真

お正月を楽しく迎えよう



関節によい料理教室



事業名	事業テーマ
30周年記念新坂地区盆踊り大会	地域文化の伝承と世代間交流

事業費

158,750円(内訳:市事業費110,893円 その他47,857円)

事業の概要

昔ながらの「くどき」と「地踊り」による盆踊り大会の開催。

事業の目的

盆踊りをとおして地域に伝わる文化の伝承を図るとともに、地域住民のふれあいを深め、帰省者との交流を図ることを目的とする。

対象者

新坂地域住民

参加人数

90人

開催期間

平成23年8月13日(土)

実施回数

1回

事業の内容

盆踊りの練習として、大会前に『大踊り』と『てんがら講』の「くどき」の練習を2回、「くどき」と「地踊り」の合同練習を1回実施して大会に備えた。「地踊り」の練習では子ども会にも参加を依頼し、子どもたちも踊りの習得に努めた。

大会当日は、炭鉾節で踊りの輪をつくり、続いて『大踊り』と『てんがら講』を踊り、最後に帝釈峡音頭で踊りを終了した。また、花火の打ち上げやお楽しみ抽選会を行い、30周年記念にあたり来場者に記念品を配布した。

特徴的な内容

地域全住民を参加対象とし、昔ながらの「くどき」と「地踊り」の保存と伝承を図るとともに、世代間交流を目的とした事業である。

成果・課題等

生の「くどき」による盆踊りを実施する地域が少なくなる中で、大会前に「くどき」と「地踊り」の練習を積み重ねることにより、当地域では昔のままの盆踊りが継続されていることが成果としてあげられる。

課題としては、「くどき」をする人の後継者の確保と育成の問題があげられる。

写真



事業名	事業テーマ
キャリア教育講演会	ふるさと愛と夢を育む

事業費

40,000 円（内訳：市事業費 40,000 円）

事業の概要

口和町出身の山本徳行さんを講師に招いた講演会

事業の目的

口和の子どもたちが、ふるさとを誇りに思い、自分の可能性や夢に気づき、将来自立していくことを促す。

対象者

町内小学校児童と保護者及び教師

参加人数

120 人

開催期間

平成 23 年 7 月 20 日（水）13：00～15：30

実施回数

1 回

事業の内容

地元口和町を中学校より離れ、現在は北九州市で会社経営されている山本徳行さんに、少年時代の思い出や海運業会社代表者としての経験談などを披露していただく。

特徴的な内容

広島商船学校卒業後、商社でお勤めになり海運業を営まれるまでのご苦労や、海賊に捕まった日本人船員を救出しイギリスのエリザベス女王と会食された時の体験談や、北九州スエーデン名誉領事でのエピソードなど、同郷の先輩が世界的で活躍されながらも、ふるさと口和町との交流を現在も大切にされているお話を聞く。

成果・課題等

同郷の大先輩の体験談から、ふるさとを大切に夢に向かってへこたれず、活躍されているお話を聞くことで世界を身近に感じるとともに、未来への夢を膨らませることができた。

写真



事業名	事業テーマ
おばあちゃん秘伝昔ながらの煮しめをつくろう会	食文化の伝承

事業費

19,000円(内訳:市事業費19,000円)

事業の概要

昔ながらの保存食を利用した「煮しめづくり」を地域のお年寄りから若い人へ伝える。

事業の目的

高野では、昔から正月の料理といえば「煮しめ」が定番だったが、保存された山菜を使う昔ながらの煮しめを作る家庭が年々減少する中、旧正月を前に地域のおばあちゃんから若いお嫁さんに作り方や味を伝え、次代へとつなげていく。

対象者

高野地域住民

参加人数

8人

開催期間

平成24年1月21日(土)

実施回数

1回

事業の内容

「私たちは、お嫁に来た時からお姑さんと一緒に甘いや辛いと言いながら、煮しめづくりをしたものです。」と講師のおばあちゃんの話聞きながら、保存された山菜の下準備をする。塩漬けしていたわらびや、ふきを色鮮やかに戻す方法や、煮付けていく順、味付けの方法を教わる。

煮しめの作り方とともに、昔の「食」「嫁・姑」等の話がされ、和気あいあいと過ごすことができた。

出来上がった煮しめは、みんなで美味しくいただき、「次は山菜の保存の方法を教わりたい」と次へと続く意見が出された。

特徴的な内容

地域のおばあちゃんに教わる郷土料理の昔ながらの味や、昔から口伝えに受け継がれている保存用の山菜の使い方を学び、次の時代へと継承していく。

成果・課題等

若年層の参加が少なく、思っていた以上に食文化が伝承されていないことが証明されたように思う。(現状の把握ができた。)

参加者の中から、次の課題を提案される形となり次年度につなげていける結果となった。(山菜の保存方法が知りたい。)

参加者の和が、なかなか広がらない。

写真



事業名	事業テーマ
尾道松江高速道路現場見学会 「夏の見学会!高速道路下門田橋」	高速道路架橋工事の社会見学

事業費
21,317円(内訳:市事業費21,317円)

事業の概要
2013年3月末開通に向けて工事の進む、尾道松江高速道路の現場見学会を、子どもの夏休みに合わせて実施。高速道路の中でも美しい曲線を描く下門田橋架橋工事の社会見学を行う。

事業の目的
・高野町民期待の高速道路の高野のシンボルである「下門田橋」の橋上にエレベーターで昇り、架橋工事の新技术ワーゲン工法の現場を見学。地元民としての高速道路への理解と開通後の地域醸成意識の高揚を図る。

対象者	参加人数
高野町民 他一般	34人(男性19人,女性15人)

開催期間	実施回数
平成23年8月23日(火)	1回

事業の内容
国土交通省三次河川局ご協力とネクスコ西日本と鉄建建設ご援助により、夏休みに希望の多い下門田橋の見学会を実施。

特徴的な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・区民(男女・若年から高齢者全部)のさらなる関心が高まるタイムリーな事業計画の実施であった。 ・国土交通省三次河川局ご協力とネクスコ西日本と鉄建建設ご援助により、下高自治振興区と一緒に開催できた。 ・すべて現場中心であったが「安全が第一」に注意され、説明会の配布物も分かり易く整備されていた。 ・子ども、特に小学生が建築土木への興味をひかれる内容の分かり易いスピーチと模式図で解説されていた。

成果・課題等
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生から90歳の古老まで参加され、高速道路への期待感と地域住民の移り変わる下高の未来への希望を共有できた。 ・橋の構造物の中に入り、完成後は見る事のできない、新技法「ワーゲン工法(やじるべい工法)」の進んでいる工学の世界を知ることができた。 ・全国からこの橋を造るために、単身赴任されている方の苦労話や冬場の雪、夏の暑さの中での工事について直接お話が聞け、工事の難しさや大変さを共有できるとともに感謝の気持ちがより醸成された。 ・開通後は決して歩けない橋の上を、小学生から90才までが自分の足で歩き、橋の大きさと曲線を描く橋の美しさを堪能した。 ・女性の方も多く、工事に対して男性以上に質問をされ、国土交通省の担当技官も驚かれるほどの関心度合いの深さがあった。 ・見学会実施後、工事関係者へ小学生や地元民の接する親しみ度合いが増して、よりフレンドリーな対応に、鉄建建設の所長にもありがたいと感謝された。

画像写真	
	  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>高速道 尾道松江線 下門田橋</p> </div>

事業名	事業テーマ
子ども俳句広場「ヒワちゃん俳句工房」	青少年の感性を伸ばす事業

事業費

258,000 円（内訳：市事業費 206,000 円 その他 52,000 円）

事業の概要

年間をとおして、青少年の俳句に関する活動をする。

事業の目的

青少年の自己形成の一助とするため、俳句をとおして創作、発表の場を設ける。
平成 18 年度より実施している。

対象者

主として小・中学生

参加人数

120 人

開催期間

通年

実施回数

20 回程度

事業の内容

通年、俳句に関する活動をする。
月 1 回の機関紙「ヒワちゃん俳句工房」の発行。
各種俳句大会への参加。
作品集「ひよめき」の発刊。投句は学校経由や、図書館に設置している投句箱等。

特徴的な内容

日常的、継続的に俳句に向き合うことで、創造する力、観察する力、考える力を伸ばすことができる事業となっている。
少ない人数でもできる活動である。

成果・課題等

6 年間の活動で、どんどん力がつき、全国的にも高評価を得るまでになった。
中学生になると、学校で俳句をつくるのが少なくなるので、自主的に E メール等を利用して、投句する機会を拡げていく必要がある。

写真



作品集「ひよめき」



日本学生俳句大会大賞受賞
世界子どもハイクコンテストに大賞ほか
多数入賞

事業名		事業テーマ
「ほたる見コンサート」「クラフトかご作り」		地域と園児の交流事業
事業費		
13,730円(内訳:市事業費13,730円)		
事業の概要		
木管楽器のやさしい響きを共に楽しみ、協力して「クラフトかご」を作り、保育所付近の田総川沿いを、世代を超えたグループで散策し、ほたるを楽しむ。		
事業の目的		
吹奏楽のミニコンサートや物づくりの体験、保育所付近の田総川沿いのほたる鑑賞とおして、幅広い世代との交流を深める。		
対象者		参加人数
保育所園児と保護者及び家族・子育て支援センターに集う子どもと保護者・地域住民		104人(園児44人,小学生20人,保護者他40人)
開催期間		実施回数
平成23年6月17日(金)		1回
事業の内容		
【第1部】 18:30~19:00 庄原格致高等学校吹奏楽部のみなさんによる「ミニコンサート」		
【第2部】 19:00~20:00 アニメ「おじゃる丸」でおなじみの『でんぼ』をモチーフにしたクラフトかご作り		
【第3部】 20:00~20:30 保育所付近の田総川沿いをほたる見散策		
特徴的な内容		
子どもたちが手作りの「光のオブジェ」を作り、園内や園庭を飾った。		
成果・課題等		
クラフトかご作りは少し難しかったが、家族や友人と協力して作成できた。		
写真		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【木管アンサンブルミニコンサート】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【クラフトかご作り】</p> </div> </div>		

連絡先一覧

地域	施設名	郵便番号	住所	電話番号 (内線)	Eメールアドレス
庄原	庄原 自治振興センター	727-0013	庄原市西本町2-17-15	72-3777 (-)	shobara-ziti@peace.ocn.ne.jp
	高 自治振興センター	729-5811	庄原市高町821-4	72-0935 (3050)	taka.jichi.ss@gmail.com
	本村 自治振興センター	727-0623	庄原市本村町1234-1	78-2743 (3060)	hon.jichi@gmail.com
	峰田 自治振興センター	727-0622	庄原市峰田町1445-2	78-2849 (3070)	mineta.jichi@gmail.com
	敷信 自治振興センター	727-0014	庄原市板橋町203-6	72-0571 (3080)	shinou.jichi@gmail.com
	東 自治振興センター	727-0023	庄原市七塚町11-2	72-2854 (3090)	higashi.jichi@gmail.com
	山内 自治振興センター	729-6131	庄原市山内町813-4	74-0451 (3100)	yamanouchi.jichi@gmail.com
	北 自治振興センター	727-0203	庄原市川北町154-3	72-0564 (3110)	kita.jichi.ss@gmail.com
西城	西城 自治振興センター	729-5722	庄原市西城町大佐734	82-2175 (3810)	saijyo.jichi@gmail.com
	八銚 自治振興センター	729-5601	庄原市西城町小鳥原615-1	84-2363 (3820)	yahoko.jichi@u-broad.jp
東城	東城 公民館	729-5121	庄原市東城町川東1188-2	2-0487 (2466)	tojyo@aiores.ocn.ne.jp
	小奴可自治振興センター	729-5502	庄原市東城町内堀1100-1	5-0057 (3310)	onuka@vesta.ocn.ne.jp
	八幡 自治振興センター	729-5456	庄原市東城町森2668-2	4-0205 (3320)	yawata@vesta.ocn.ne.jp
	田森 自治振興センター	729-5127	庄原市東城町栗田1715-1	2-0661 (3330)	tamori@vesta.ocn.ne.jp
	帝釈 自治振興センター	729-5244	庄原市東城町帝釈未渡2021	6-0055 (3340)	taishaku@vesta.ocn.ne.jp
	久代 自治振興センター	729-5122	庄原市東城町久代2105-1	2-0148 (3350)	kusiro@vesta.ocn.ne.jp
	新坂 自治振興センター	729-5132	庄原市東城町三坂330	2-2252 (3360)	shinsaka@vesta.ocn.ne.jp
口和	口和 自治振興センター	728-0502	庄原市口和町向泉934-4	87-2213 (3620)	kuchiwajichi@gmail.com
高野	上高 自治振興センター	727-0402	庄原市高野町新市1283	86-2214 (3900)	kamitaka.zichi@gmail.com
	下高 自治振興センター	727-0423	庄原市高野町下門田8	86-2679 (3910)	simotaka8@gmail.com
比和	比和 自治振興センター	727-0301	庄原市比和町比和1119-1	85-2600 (3701)	hiwa.jichi@gmail.com
総領	総領 自治振興センター	729-3703	庄原市総領町下領家278	88-3067 (3502)	soryojichi67@yahoo.co.jp

市外局番 0824 (東城地域 08477)

生涯学習事業実践事例集

～ 公民館・自治振興センターで行う生涯学習事業～ (平成23年度)

平成24年7月 発行



庄原市教育委員会 生涯学習課社会教育係

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電話: 0824-73-1188 e-mail: syogai-syakai@city.shobara.hiroshima.jp